

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成21年11月11日
【四半期会計期間】	第96期第2四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	日華化学株式会社
【英訳名】	NICCA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江守 康昌
【本店の所在の場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理財務部長 宮本 和浩
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理財務部長 宮本 和浩
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第95期 第2四半期連結 累計期間	第96期 第2四半期連結 累計期間	第95期 第2四半期連結 会計期間	第96期 第2四半期連結 会計期間	第95期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	16,677,908	14,193,471	8,675,255	7,394,266	29,090,988
経常利益(千円)	666,652	615,602	403,002	321,443	276,833
四半期(当期)純利益又は四半期 (当期)純損失( )(千円)	352,251	390,087	218,330	197,898	363,043
純資産額(千円)	-	-	13,272,424	11,840,244	10,903,414
総資産額(千円)	-	-	35,235,002	31,316,613	30,728,947
1株当たり純資産額(円)	-	-	636.71	567.88	526.10
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期(当 期)純損失金額( )(円)	20.00	22.16	12.40	11.24	20.62
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	31.8	31.9	30.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	77,689	1,656,429	-	-	882,142
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	284,844	452,918	-	-	857,574
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	180,363	1,507,485	-	-	242,757
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	2,587,125	2,640,136	2,870,137
従業員数(人)	-	-	1,067	1,104	1,115

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう、以下同じ。)は含まれておりません。

3. 第95期第2四半期連結累計期間、第96期第2四半期連結累計期間、第95期第2四半期連結会計期間、第96期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第95期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	1,104	(93)
---------	-------	------

（注）従業員数は就業人員（連結会社から連結会社外への出向者を除き、連結会社外から連結会社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員等）は、当第2四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	549	(75)
---------	-----	------

（注）従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員等）は、当第2四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
工業用薬剤関連事業(千円)	4,753,053	80.2
化粧品関連事業(千円)	1,140,139	122.7
その他事業(千円)	100,676	97.7
合計(千円)	5,993,869	86.2

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 製商品仕入実績

当第2四半期連結会計期間の製商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
工業用薬剤関連事業(千円)	950,356	73.4
化粧品関連事業(千円)	13,902	31.1
その他事業(千円)	8,230	65.4
合計(千円)	972,490	71.9

- (注) 1. 金額はセグメント間の内部振替前の数値によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 受注実績

当連結会社は、販売計画、生産状況を基礎として生産計画を立案し、これによって生産をしているので受注生産は行っておりません。

(4) 販売実績

当第2四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
工業用薬剤関連事業(千円)	5,784,902	79.9
化粧品関連事業(千円)	1,483,457	114.0
その他事業(千円)	125,906	92.7
合計(千円)	7,394,266	85.2

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 前第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
長瀬産業(株)	916,971	10.6	-	-

(注) 当第2四半期連結会計期間につきましては、当該割合が100分の10未満であるため、記載を省略しております。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、昨年後半以来の世界同時不況の影響から徐々に落ち着きを取り戻しつつあります。しかし、本格回復には至っておらず、依然として景気の先行き不透明感がぬぐえない中、自動車産業を中心に多くの産業で大幅な生産調整が行われ、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、化粧品関連事業では新製品の投入等により好調に推移しましたが、工業用薬剤関連事業では需要の低迷が続き、売上高は73億9千4百万円（前年同四半期比14.8%減）となりました。利益面におきましては、コストダウンや収益性改善を全社的に進め、営業利益は3億6千6百万円（同20.1%減）、経常利益は3億2千1百万円（同20.2%減）、四半期純利益は1億9千7百万円（同9.4%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 工業用薬剤関連事業

売上高は57億8千4百万円（同20.1%減）、営業利益は4億4千8百万円（同25.6%減）となりました。

繊維加工用界面活性剤等では、付加価値の高い製品を開発し販売を進めましたが、市況は厳しさが続き、売上高は減少しました。紙パルプ、金属工業用界面活性剤等においても、受注の低迷で売上高は減少しました。

海外では、世界同時不況の影が色濃く残り、先進国では大幅な落ち込みが続きました。中国は、内需の堅調さに支えられ復調がみえてきましたが、欧米への輸出需要回復にまでは至っておりません。

#### 化粧品関連事業

売上高は14億8千3百万円（同14.0%増）、営業利益は1億6千4百万円（同16.5%減）となりました。

美容市場は相変わらず低迷していますが、業務用総合美容メーカーとしてヘアケア剤、ヘアカラー等を積極的に展開し、大型店の開拓や新規得意先の獲得等により売上高が増加しました。

#### その他事業

売上高は1億2千5百万円（同7.3%減）、営業利益は5百万円（前年同四半期は営業損失1千1百万円）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 日本

売上高は47億3千8百万円（前年同四半期比9.0%減）、営業利益は3億8千4百万円（同14.2%減）となりました。

化粧品関連事業は好調に推移しましたが、工業用薬剤関連事業が回復せず売上高は減少しました。営業利益は、コスト削減を進めたものの売上高の減少等により減少しました。

#### 東南アジア

売上高は24億5千2百万円（同19.2%減）、営業利益は2億3千4百万円（同32.3%減）となりました。

中国華南地区やタイが低迷したことにより、売上高は減少しました。営業利益は、売上高の減少に加え為替の影響等によるコスト負担増により減少しました。

#### 北米

売上高は2億3百万円（同52.7%減）、営業利益は1百万円（同85.8%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが7億6千2百万円得られたものの、有形固定資産の取得に伴う支出1億1千1百万円や借入金の減少5億6千7百万円等により、第1四半期連結会計期間末に比べ、4千1百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には26億4千万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は7億6千2百万円（前年同四半期は1億3百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億2千万円、減価償却費2億4千6百万円を計上したことに加え、たな卸資産の減少に伴う増加3億5千2百万円、仕入債務の増加に伴う増加3億7千万円がありました。売上債権の増加に伴う減少4億8千5百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億6千6百万円（前年同四半期は8千1百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5億9千1百万円（前年同四半期は4億1百万円の調達）となりました。これは主に、借入金の減少によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、3億9千7百万円であります。なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。



## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,932,000
計	44,932,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,710,000	17,710,000	名古屋証券取引所市場第 二部	単元株式数 1,000株
計	17,710,000	17,710,000	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	-	17,710,000	-	2,898,545	-	3,039,735

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
江守商事株式会社	福井県福井市毛矢1丁目6番23号	2,558	14.44
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5番1号	2,338	13.20
日華共栄会	福井県福井市文京4丁目23番1号	1,437	8.11
江守 康昌	福井県福井市	1,196	6.75
日華化学社員持株会	福井県福井市文京4丁目23番1号	864	4.88
有限会社江守プランニング	福井県福井市宝永2丁目1番30号	774	4.37
江守 幹男	福井県福井市	501	2.83
財団法人江守アジア留学生育英会	福井県福井市文京4丁目23番1号	500	2.82
株式会社福井銀行	福井県福井市順化1丁目1番1号	344	1.94
宗教法人妙見山歡喜寺	福井県南条郡南越前町清水51-1-2	338	1.91
計	-	10,854	61.28

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 103,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,467,000	17,467	-
単元未満株式	普通株式 140,000	-	-
発行済株式総数	17,710,000	-	-
総株主の議決権	-	17,467	-

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
日華化学株式会社	福井市文京4丁目23番1号	103,000	-	103,000	0.58
計	-	103,000	-	103,000	0.58

## 2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	370	440	445	430	440	429
最低(円)	339	370	416	410	415	409

(注) 最高・最低株価は、名古屋証券取引所市場第二部におけるものであります。

## 3【役員の状態】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,836,426	3,056,154
受取手形及び売掛金	7,431,141	6,572,723
商品及び製品	2,121,368	2,290,691
仕掛品	414,994	467,350
原材料及び貯蔵品	1,896,942	2,158,028
その他	540,858	592,364
貸倒引当金	80,563	77,260
流動資産合計	15,161,169	15,060,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,766,630	4,828,109
機械装置及び運搬具(純額)	1,328,074	1,397,747
土地	6,268,891	6,141,754
その他(純額)	1,060,513	658,637
有形固定資産合計	<sup>1</sup> 13,424,110	<sup>1</sup> 13,026,249
無形固定資産	440,143	470,914
投資その他の資産	<sup>2</sup> 2,291,190	<sup>2</sup> 2,171,731
固定資産合計	16,155,444	15,668,896
資産合計	31,316,613	30,728,947
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,481,573	2,792,642
短期借入金	5,699,445	7,379,340
未払法人税等	154,908	99,509
賞与引当金	386,870	314,000
その他	1,716,981	1,500,846
流動負債合計	11,439,779	12,086,340
固定負債		
長期借入金	4,915,414	4,589,654
退職給付引当金	2,312,905	2,284,473
役員退職慰労引当金	164,190	210,510
負ののれん	23,900	27,486
その他	620,179	627,067
固定負債合計	8,036,589	7,739,192
負債合計	19,476,369	19,825,532

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,167	3,040,167
利益剰余金	5,817,674	5,427,586
自己株式	42,717	42,589
株主資本合計	11,713,669	11,323,709
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74,713	27,473
為替換算調整勘定	1,789,873	2,088,013
評価・換算差額等合計	1,715,160	2,060,539
少数株主持分	1,841,734	1,640,244
純資産合計	11,840,244	10,903,414
負債純資産合計	31,316,613	30,728,947

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	16,677,908	14,193,471
売上原価	11,587,526	9,425,808
売上総利益	5,090,381	4,767,662
販売費及び一般管理費	4,357,364	4,127,973
営業利益	733,017	639,689
営業外収益		
受取利息	17,413	5,559
受取配当金	15,265	10,759
負ののれん償却額	4,586	3,586
持分法による投資利益	34,111	34,112
助成金収入	-	33,186
その他	74,711	68,667
営業外収益合計	146,087	155,871
営業外費用		
支払利息	122,077	92,790
その他	90,374	87,167
営業外費用合計	212,452	179,957
経常利益	666,652	615,602
特別利益		
固定資産売却益	3,382	5,016
投資有価証券売却益	-	15,724
持分変動利益	587	-
特別利益合計	3,970	20,741
特別損失		
固定資産除却損	1,374	1,326
固定資産売却損	78	-
投資有価証券評価損	449	1,960
出資金評価損	11,190	-
関係会社株式売却損	6,701	-
特別損失合計	19,794	3,287
税金等調整前四半期純利益	650,829	633,056
法人税等	164,849	150,852
少数株主利益	133,728	92,116
四半期純利益	352,251	390,087

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,675,255	7,394,266
売上原価	5,994,751	4,869,793
売上総利益	2,680,503	2,524,473
販売費及び一般管理費	2,220,925	2,157,491
営業利益	459,577	366,981
営業外収益		
受取利息	8,401	2,989
受取配当金	5,730	4,771
負ののれん償却額	2,293	1,793
持分法による投資利益	14,381	16,080
その他	39,559	57,526
営業外収益合計	70,366	83,160
営業外費用		
支払利息	59,997	43,264
その他	66,944	85,434
営業外費用合計	126,941	128,698
経常利益	403,002	321,443
特別利益		
固定資産売却益	623	29
投資有価証券売却益	-	310
持分変動利益	587	-
特別利益合計	1,211	340
特別損失		
固定資産除却損	304	1,326
投資有価証券評価損	449	-
出資金評価損	11,190	-
関係会社株式売却損	6,701	-
特別損失合計	18,645	1,326
税金等調整前四半期純利益	385,567	320,456
法人税等	87,588	69,706
少数株主利益	79,648	52,851
四半期純利益	218,330	197,898



## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	650,829	633,056
減価償却費	513,229	496,597
負ののれん償却額	4,586	3,586
投資有価証券評価損益(は益)	449	1,960
出資金評価損	11,190	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,280	25,600
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,620	46,320
賞与引当金の増減額(は減少)	19,640	72,870
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,589	516
受取利息及び受取配当金	32,678	16,319
支払利息	122,077	92,790
為替差損益(は益)	9,019	375
持分変動損益(は益)	587	-
持分法による投資損益(は益)	34,111	34,112
固定資産処分損益(は益)	1,929	3,690
投資有価証券売却損益(は益)	-	15,724
関係会社株式売却損益(は益)	6,701	-
売上債権の増減額(は増加)	954,324	691,560
たな卸資産の増減額(は増加)	277,530	634,752
仕入債務の増減額(は減少)	443,650	587,680
未払消費税等の増減額(は減少)	4,920	50,694
その他	109,988	7,400
小計	332,619	1,792,232
利息及び配当金の受取額	80,242	56,750
利息の支払額	120,937	93,118
法人税等の支払額	214,235	99,435
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,689	1,656,429
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	142,541	129,916
定期預金の払戻による収入	113,465	129,785
有形固定資産の取得による支出	290,254	359,951
有形固定資産の売却による収入	3,529	10,553
投資有価証券の取得による支出	7,036	16,678
投資有価証券の売却による収入	-	21,363
関係会社株式の売却による収入	51,226	-
その他	13,234	108,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	284,844	452,918

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	27,661,176	20,520,685
短期借入金の返済による支出	27,238,400	21,386,941
長期借入れによる収入	50,850	837,500
長期借入金の返済による支出	477,692	1,397,152
少数株主からの払込みによる収入	24,614	-
配当金の支払額	88,151	155
少数株主への配当金の支払額	134,980	81,294
自己株式の売却による収入	23,259	-
自己株式の取得による支出	1,038	127
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,363	1,507,485
現金及び現金同等物に係る換算差額	157,493	73,974
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	545,011	230,000
現金及び現金同等物の期首残高	3,132,137	2,870,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,587,125	2,640,136

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「助成金収入」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。 なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「助成金収入」は347千円であります。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 棚卸資産の評価方法	当第2四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。
3. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。
4. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)			前連結会計年度末 (平成21年3月31日)			
1	有形固定資産の減価償却累計額は、18,794,128千円であります。		1	有形固定資産の減価償却累計額は、18,202,535千円あります。		
2	貸倒引当金3,631千円を直接控除しております。		2	貸倒引当金3,631千円を直接控除しております。		
3	保証債務 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。		3	保証債務 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。		
		保証金額			保証金額	
	保証先	外貨額 (千)	円換算額 (千円)	保証先	外貨額 (千)	円換算額 (千円)
	ローディア日華(株)	-	150,000	ローディア日華(株)	-	150,000
	徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$ 6,750	18,828	徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$ 11,000	31,659
	計	-	168,828	計	-	181,659
	内90,000千円は、ローディアジャパン株式会社より再保証を受けております。			内90,000千円は、ローディアジャパン株式会社より再保証を受けております。		

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)			当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		
	販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。			販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
	役員報酬及び給料	1,107,909千円		役員報酬及び給料	1,059,003千円
	賞与引当金繰入額	164,321千円		賞与引当金繰入額	190,583千円
	退職給付引当金繰入額	65,653千円		退職給付引当金繰入額	71,196千円
	役員退職慰労引当金繰入額	7,620千円		役員退職慰労引当金繰入額	8,100千円
	貸倒引当金繰入額	6,589千円		貸倒引当金繰入額	516千円

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)			当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)		
	販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。			販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
	役員報酬及び給料	570,934千円		役員報酬及び給料	547,905千円
	賞与引当金繰入額	78,946千円		賞与引当金繰入額	94,440千円
	退職給付引当金繰入額	30,786千円		退職給付引当金繰入額	36,161千円
	役員退職慰労引当金繰入額	3,810千円		貸倒引当金繰入額	4,850千円
	貸倒引当金繰入額	5,771千円		役員退職慰労引当金繰入額	2,850千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) (千円)		現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	2,826,079	現金及び預金勘定	2,836,426
預入期間が3か月を超える定期預金	238,953	預入期間が3か月を超える定期預金	196,289
現金及び現金同等物	2,587,125	現金及び現金同等物	2,640,136

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数  
普通株式 17,710千株
2. 自己株式の種類及び株式数  
普通株式 103千株
3. 新株予約権等に関する事項  
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項  
該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	工業用薬剤 関連事業 (千円)	化粧品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,238,014	1,301,470	135,769	8,675,255	-	8,675,255
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,268	-	5,053	11,322	(11,322)	-
計	7,244,283	1,301,470	140,823	8,686,577	(11,322)	8,675,255
営業利益又は営業損失( )	603,305	196,552	11,371	788,486	(328,909)	459,577

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	工業用薬剤 関連事業 (千円)	化粧品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,784,902	1,483,457	125,906	7,394,266	-	7,394,266
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,826	-	5,453	9,280	(9,280)	-
計	5,788,729	1,483,457	131,360	7,403,546	(9,280)	7,394,266
営業利益	448,606	164,040	5,137	617,784	(250,802)	366,981

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	工業用薬剤 関連事業 (千円)	化粧品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,865,625	2,536,315	275,967	16,677,908	-	16,677,908
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	11,803	-	10,126	21,929	(21,929)	-
計	13,877,428	2,536,315	286,093	16,699,837	(21,929)	16,677,908
営業利益又は営業損失( )	1,121,767	327,032	36,964	1,411,835	(678,818)	733,017

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	工業用薬剤 関連事業 (千円)	化粧品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,103,952	2,816,530	272,988	14,193,471	-	14,193,471
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,468	-	10,520	16,989	(16,989)	-
計	11,110,420	2,816,530	283,508	14,210,460	(16,989)	14,193,471
営業利益又は営業損失( )	760,976	396,946	6,675	1,151,247	(511,558)	639,689

(注) 1. 事業区分は、製品の用途別(工業用、一般消費用)により区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 工業用薬剤関連事業.....繊維加工用界面活性剤等、紙パルプ工業用界面活性剤等、金属工業用界面活性剤等、その他工業用界面活性剤等、業務用洗剤等、その他
- (2) 化粧品関連事業.....シャンプー、コンディショナー、ヘアカラー、スタイリング剤、パーマ剤、その他化粧品
- (3) その他事業.....殺菌剤、消毒剤等

3. 会計処理方法の変更

前第2四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、工業用薬剤関連事業で3,968千円、化粧品関連事業で1,742千円それぞれ減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,209,936	3,036,151	429,167	8,675,255	-	8,675,255
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,029,993	111,906	40,137	1,182,037	(1,182,037)	-
計	6,239,929	3,148,057	469,305	9,857,292	(1,182,037)	8,675,255
営業利益	447,896	345,941	7,204	801,041	(341,463)	459,577

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,738,792	2,452,440	203,033	7,394,266	-	7,394,266
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	962,384	87,389	32,888	1,082,661	(1,082,661)	-
計	5,701,176	2,539,829	235,921	8,476,928	(1,082,661)	7,394,266
営業利益	384,471	234,152	1,023	619,647	(252,666)	366,981

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,429,823	5,506,096	741,987	16,677,908	-	16,677,908
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,975,027	217,618	79,497	2,272,143	(2,272,143)	-
計	12,404,851	5,723,715	821,485	18,950,052	(2,272,143)	16,677,908
営業利益	839,275	621,493	4,609	1,465,377	(732,360)	733,017

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,348,587	4,418,117	426,765	14,193,471	-	14,193,471
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,641,084	162,907	69,425	1,873,416	(1,873,416)	-
計	10,989,671	4,581,025	496,190	16,066,888	(1,873,416)	14,193,471
営業利益又は営業損失（ ）	759,116	407,336	13,502	1,152,949	(513,260)	639,689

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 東南アジア...インドネシア、香港、台湾、タイ、韓国、中国、ベトナム

(2) 北米.....米国

3. 会計処理方法の変更

前第2四半期連結累計期間

( 棚卸資産の評価に関する会計基準 )

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、日本で5,710千円減少しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）

	東南アジア	北米	その他の地域	計
海外売上高（千円）	3,173,914	429,167	303,789	3,906,871
連結売上高（千円）	-	-	-	8,675,255
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	36.6	4.9	3.5	45.0

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）

	東南アジア	北米	その他の地域	計
海外売上高（千円）	2,556,695	203,033	185,969	2,945,698
連結売上高（千円）	-	-	-	7,394,266
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	34.6	2.7	2.5	39.8

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	東南アジア	北米	その他の地域	計
海外売上高（千円）	5,839,320	755,177	532,370	7,126,868
連結売上高（千円）	-	-	-	16,677,908
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	35.0	4.5	3.2	42.7

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

	東南アジア	北米	その他の地域	計
海外売上高（千円）	4,647,363	434,265	341,547	5,423,176
連結売上高（千円）	-	-	-	14,193,471
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	32.7	3.1	2.4	38.2

（注）1．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2．各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 東南アジア...インドネシア、香港、台湾、タイ、韓国、中国、マレーシア、シンガポール、ベトナム、フィリピン

(2) 北米.....米国

3．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。



( 1 株当たり情報 )

1 . 1 株当たり純資産額

当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年 3月31日)
1 株当たり純資産額 567.88 円	1 株当たり純資産額 526.10 円

2 . 1 株当たり四半期純利益金額等

前第 2 四半期連結累計期間 (自平成20年 4月 1日 至平成20年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自平成21年 4月 1日 至平成21年 9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額 20.00 円	1 株当たり四半期純利益金額 22.16 円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1 株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自平成20年 4月 1日 至平成20年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自平成21年 4月 1日 至平成21年 9月30日)
四半期純利益 (千円)	352,251	390,087
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	352,251	390,087
期中平均株式数 (千株)	17,608	17,607

前第 2 四半期連結会計期間 (自平成20年 7月 1日 至平成20年 9月30日)	当第 2 四半期連結会計期間 (自平成21年 7月 1日 至平成21年 9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額 12.40 円	1 株当たり四半期純利益金額 11.24 円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1 株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結会計期間 (自平成20年 7月 1日 至平成20年 9月30日)	当第 2 四半期連結会計期間 (自平成21年 7月 1日 至平成21年 9月30日)
四半期純利益 (千円)	218,330	197,898
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	218,330	197,898
期中平均株式数 (千株)	17,608	17,606

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月12日

日華化学株式会社  
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 坂下 清司 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小酒井 雄三 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月9日

日華化学株式会社  
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 坂下 清司 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。